

宮崎県の口蹄疫、 2例目、3例目が続発！

4月21日朝、1例目の農場から約3km離れた川南町の農場で2例目の口蹄疫の疑似患畜が確認されました。さらに同日夜、2例目の農場から約400m離れた同町内で、3例目の疑似患畜が確認されました。

・2例目(疑似患畜9頭)

宮崎県川南町 酪農・肉用牛複合農場65頭

・3例目(疑似患畜3頭)

宮崎県川南町 肉用牛肥育農場118頭



発生予防のためには・・・

1. 飼養している家畜を毎日十分観察しましょう！

～こんな症状の牛や豚はいませんか？～

発熱、多量のよだれ、

口・蹄・乳房周辺の皮膚や粘膜の水疱やびらん形成

2. 侵入防止を徹底しましょう！

・農場(畜舎)出入り口での消毒を徹底しましょう！

→消毒剤については裏面参照

・関係者以外は、農場(畜舎)に入れない！

・家畜を導入する際には隔離飼育を行い、
様子を確認しましょう！

研修会や市場等から帰ったら、靴の消毒を徹底し、
直接牛舎に入らないようにしましょう！

○口蹄疫に対する消毒を頻回実施！

口蹄疫ウイルスを殺菌する方法は消毒しかなく、踏み込み消毒槽の設置、畜舎、運搬車両等の消毒を頻回実施してください。

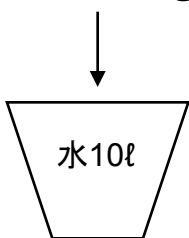
○消毒液の種類と希釈倍率

市販の消毒薬使用の場合

次亜塩素酸系	500倍	ビルコンS
アルデヒド製剤	500倍	グルターZ
ヨード剤	500倍	クリンナップ、 リンドレス
逆性石鹼	500倍	クリアキル +0.1%苛性ソーダ (NaOH)

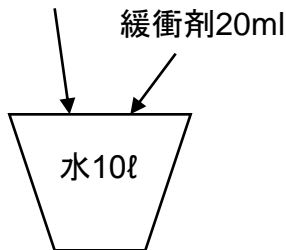
ビルコンS
500倍で使用

ビルコンS 20g



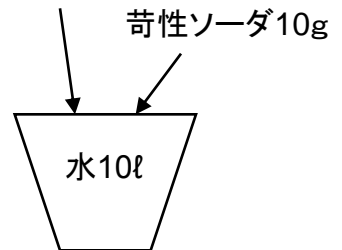
グルターZ
500倍で使用

グルターZ 20ml
緩衝剤20ml



クリアキル
500倍で使用

クリアキル 20ml
苛性ソーダ10g



**飼育している家畜に異常がみられたら、
担当の獣医師又は家畜保健衛生所までご連絡ください**